

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	藤原 海考
主な担当科目	オペラ演習 I ③
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の教育目標・授業に臨む姿勢	演奏活動等の研究活動を通じ声楽やオペラの指導法の向上を図る。更に、学生の技術向上のため様々な教育システム及び講座等を導入し、学生に舞台経験を積ませる企画を模索する。
2023年の教育に関する自己評価	演奏活動等の研究活動を通じ声楽やオペラの指導法の向上をおおむね図ることができた。また、学生の技術向上のため様々な公開講座などを通じて学生に舞台経験を積ませる企画を模索することができた。
2023年のFD活動に関する自己評価	主に声楽部会及び基礎ゼミの学内組織にてFD活動を行い、特に声楽やオペラの授業での活動はおおむね積極的に行ったと言える。
授業改善のために取り入れた研修内容	声楽関係の授業方法について、またオペラ演習の授業内容、授業展開について学生の資質に合わせて、教員相互の連携を図った。

2023 年度(後期・通年)「学生による授業評価アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:1198 教員名:藤原 海考

1)アンケート結果に対する所見

まず、15 名中の 3 名の回答ということで、私たちのアンケートへの協力の依頼が十分に浸透していなかったことが伺える。

また、少なくとも未提出の 12 名の学生の授業評価が不明なため、相対的かつ客観的にコメントすることが極めて難しいと思われる。

ただし、提出があった 3 名の学生のうち、1 名は授業のカリキュラム不満があったようで、その点に関しては真摯に受け止め今後の改善につなげていきたい。

2)要望への対応・改善方策

更にオペラに興味を持ってもらうようにさらに検討を行っていく、とともに、実際には 4 年次のオペラ演習の選択に20名が履修している現状も鑑みると、一定のモチベーションを保った授業が行えていたのではないかと考える。一方でこの数年学生同士の間関係がスムーズに行えていない傾向が伺える。この点においても、スタッフが丁寧に学生の様子を見守りケアしていくことが必要だと思える。

3)今後の課題

基本的に学部3年のオペラ演習ではオペラに興味を持ち、好きになってもらい更なるオペラの勉強を重ねたい、という学生が増えて欲しいという目的の下、この授業は行われている。これからも試行錯誤しながら、学生の能力とモチベーションを見極めて、授業を展開していきたい。

以上